

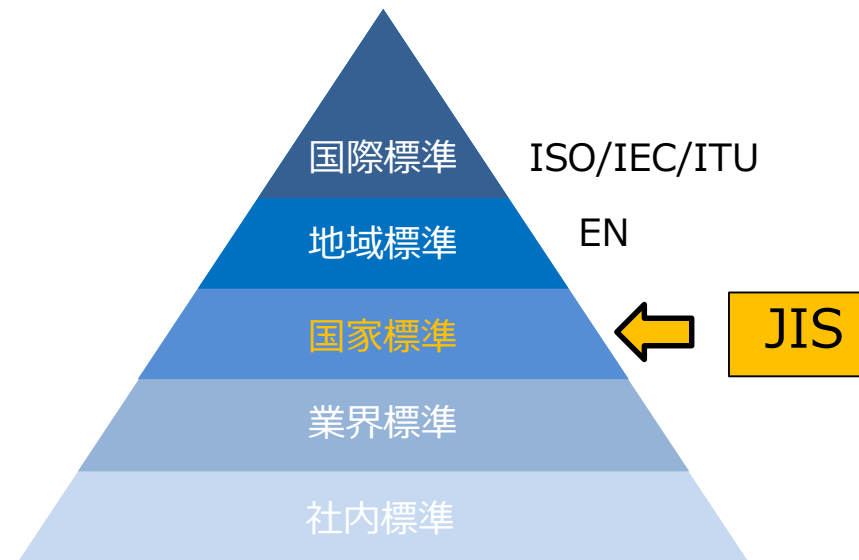
電力設備から発生する 磁界の測定に関する JIS規格の概要① ～ JIS C 1910-1/-2とは～

JISとは

JISとは、Japanese Industrial Standardsの略のことで、日本産業規格とも呼びます。

日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格のことです。

自由に放置すれば、多様化・複雑化・無秩序化してしまうモノやコトについて、国レベルの「規格」を制定し、これを全国的に「統一」または「単純化」することを目的としています。



規格番号

それぞれのJIS規格には、次に示すような規格番号が付いています。
この規格番号を用いることで、仕様書、契約書において規格名称を記載することなく、取引などを行うことができます。

JIS C 1910-1:2017

部門記号

分類番号を表す
4桁or5桁の数字

改正の年を表す
4桁の数字

JISの部門区分け

JISでは、部門で区分けしてアルファベット一文字で部門記号を表しています。本JIS規格（ JIS C 1910-1/-2 ）は、測定器に関する要求事項ですので、部門区分けは次に示す表の「C」に分類されます。

部門記号	部門
A	土木及び建築
B	一般機械
C	電子機器及び電気機械
D	自動車
E	鉄道
F	船舶
G	鉄鋼
H	非鉄金属
K	化学
L	繊維

部門記号	部門
M	鉱山
P	パルプ及び紙
Q	管理システム
R	窯業
S	日用品
T	医療安全用具
W	航空
X	情報処理
Y	サービス
Z	その他



JIS C 1910-1/-2とは

JIS C 1910-1/-2:2017とは、電力設備から発生する磁界及び電界を人体にばく露することを考慮して、その測定方法や測定に使用する測定器に関して規定したJIS規格のことです。

JIS C 1910の規格群には、次に示す部編成があります。

JIS C 1910-1

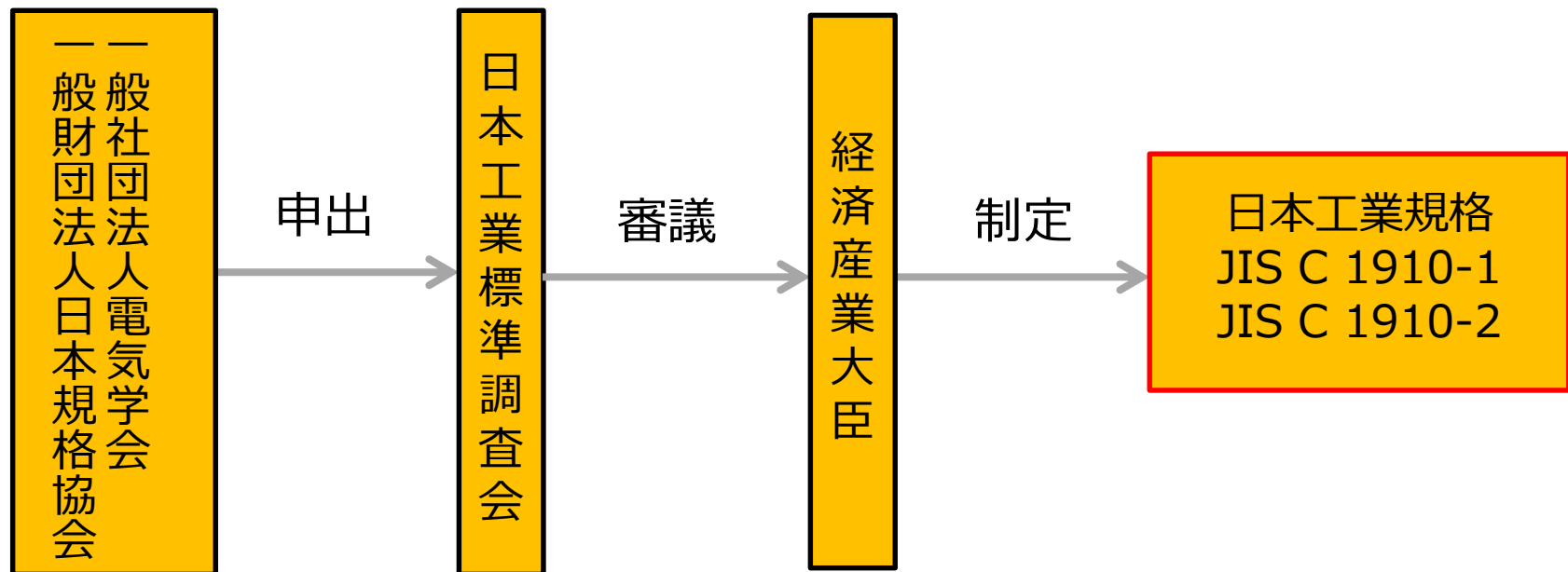
人体ばく露を考慮した直流磁界並びに 1 Hz～100 kHzの交流磁界及び交流電界の測定－ 第1部：測定器に対する要求事項

JIS C 1910-2

人体ばく露を考慮した直流磁界並びに 1 Hz～100 kHzの交流磁界及び交流電界の測定－ 第2部：測定に対する要求事項

JIS C 1910-1/-2制定の経緯①

工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、一般社団法人電気学会（IEEJ）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が日本工業規格JIS C 1910-1及びJIS C 1910-2を制定しました。



JIS C 1910-1/-2制定の経緯②

まずはじめに、国際規格である「IEC 61786:1988」が発行され、これを基礎として用いて、日本工業規格※「JIS C 1910:2004」が発行されました。JIS C 1910-1/-2は、国際規格であるIEC 61786-1/2をそれぞれ基にして、技術的内容及び構成を変更することなく作成された日本工業規格です。これによって、JIS C 1910:2004が廃止され、JIS C 1910-1/-2に置き換えられました。

年	国際規格	日本工業規格
1998	IEC 61786:1998	
2004		JIS C 1910 : 2004
2013	IEC 61786-1	
2014	IEC 61786-2	
2017		JIS C 1910-1 : 2017 JIS C 1910-2 : 2017

※日本工業規格は、2019年に日本産業規格に名称変更されています。

おわりに

最後まで資料をお読み頂きありがとうございます。

本資料では、JIS規格とは何か、本JIS規格の制定の経緯などについて記載しました。

本資料以外にも磁界に関する技術資料をご用意していますので、よろしければ参照ください。

なお、本資料の利用によって、お客様及び第三者に生じた損害においては、当社は責任を負わないものとします。